

第1回 多摩川トンネル浮島ランプ構造勉強会

議事概要

1. 日 時:令和5年7月19日(水) 13:30～15:00

2. 場 所:九段第3合同庁舎15階 関東地方整備局会議室

3. 委 員:

(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 所長	真下 英人
東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 教授	高橋 章浩
東京大学 大学院 工学系研究科 教授	福田 大輔
東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科 准教授	柳沼 秀樹
川崎市 川崎区役所道路公園センター 所長	小林 登
川崎市 建設緑政局 広域道路整備室長	安部 正和
国土交通省 関東地方整備局 道路計画第一課長	木本 悠太
国土交通省 関東地方整備局 道路工事課長	山田 寧
国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所長	藤坂 幸輔

4. 議事概要:

○下記事項について確認した。

- ・国道357号多摩川トンネルの事業概要、整備効果、現在の工事状況、昭和52年都市計画決定から現在までの計画変更の変遷などを確認。
- ・課題と条件として、都市計画決定から現在の周辺環境や施工条件の変化による施工難易度や追加費用などの課題や、今後の段階的な整備を想定した交通機能などの条件を踏まえた、最適な浮島ランプ構造の検討の必要性を確認。
- ・複数のランプ形状案を検討し、交通の観点も含めた評価項目による比較検討を行うことを確認。
- ・進め方として、引き続き、勉強会を開催し、最適なランプ構造を検討することを確認。

以上